

第 39 回全国高等学校ゴルフ選手権団体の部・三重県予選
兼 三重県高等学校総合体育大会
第 19回ゴルフ競技・学校対抗戦

開催日 平成 30 年 5 月 21 日(月)公式指定ラウンド 5 月 22 日(火)大会
開催コース CRC 白山ヴィレッジゴルフコース キングコース
主催 三重県高等学校ゴルフ連盟

ローカルルール

- アウトオブバウンズ(規則27-1)
 - アウトオブバウンズの境界は白杭または境界線(太い白線)をもって標示する。
 - 現にプレーするホールにおいて、アウトオブバウンズの境界を超えて他のホールのインバウンズに止まっても、その球はアウトオブバウンズとする。
- ラテラル・ウォーターハザード(規則26)

ラテラル・ウォーターハザードは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。
- 修理地(規則25-1)

修理地は青杭又は白線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。ただし、次のものを含む。

 - スルーザグリーンの芝草を短く刈ってある区域にあるヤーテージマーキングペイントが球のライ、意図するスイング区域の障害となる場合、規則25-1bの救済を受けることができる。しかしながら、そのペイントがプレーヤーのスタンスの障害となっても、それ自体は規則25-1に基づく障害とはみなさない。
 - No4においてクローズド(Closed)の標示のある予備グリーン(カラーを含む)はプレー禁止の修理地(スルーザグリーン)とし、その上に球が当たる場合及びスタンスがかかる場合、競技者は、ゴルフ規則25-1b(i)の救済を受けなければならない。このローカルルールの違反の罰は、2打。
 - スルーザグリーンにおいて明らかにイノシシが掘りおこした跡地。
- 動かさない障害物(規則24-2)
 - 排水溝、ヤード表示杭、ヤード表示板、樹木の切り株
 - 人工の表面を持つ道路に接した排水溝(その道路の一部とみなす)
 - 動かさない障害物と定義づけられている区域に近接し白線が引かれた区域は、修理地ではなく、その障害物の一部とみなす。
 - バンカー内の排水枘。※処置方法(規則 24-2(ii)参照)

障害物が避けられるバンカー内のニヤレスポイントから1クラブレンジ以内のバンカー内にドロップしなければならない。バンカー内にドロップする場所がない場合は 1 打罰のもと、ホールと球のあった場所を結んだ線上でバンカーの外へドロップすることができる。その際の距離に制限はない。
- コースと不可分の部分

樹木保護のための巻物施設(まき網など)はコースと不可分の部分とする。
- スルーザグリーンで、地面(砂地の場所を除く)に自分で作ったピッチマークに球がくい込んでいるときは、その球は罰なしに拾い上げてふき、ホールに近づかず、しかも球の止まっていた箇所にできるだけ近い所にドロップすることができる。ドロップの際、球はスルーザグリーンのコース上に直接落ちなければならない。

例外) このローカルルールに記載の状態以外の状態による障害のためにストロークを行うことが明らかに無理な場合、プレーヤーはこのローカルルールによる救済を受けてはならない。このローカルルール違反の罰は2打。
- プレーヤーの球がパッティンググリーン上にある場合、その球やボールマーカーがプレーヤーや携帯品によって偶然に動かされても罰はない。

その球やボールマーカーは規則 18-2, 18-3, そして規則 20-1 に規定されている通りにリプレースされなければならない。

このローカルルールはプレーヤーの球やボールマーカーがパッティンググリーン上にあり、いかなる動きも偶然である場合にだけ適用する。

競技の条件

1. ゴルフ規則
日本ゴルフ協会ゴルフ規則とこの競技のローカルルールを適用する。
2. 競技委員会の裁定
競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。
3. 使用クラブの規格
(a)『適合ドライバーヘッドリストの条件・付属規則 I (B) 1a』を適用する。
(b)『2010年1月1日施行の溝とパンチマークの仕様とその競技の条件・付属規則 II 5c注2・裁定4-1/1』を適用する。
4. 使用球の規格
『公認球リストの条件・付属規則 I (B) 1b』を適用する。
5. プレーの中断と再開
(a) 通常のプレーの一時中止(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、ゴルフ規則6-8b、c、d、に従って処置すること。
(b) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが一時中止となった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間をいた時は、各競技者は委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。
1 ホールのプレーの途中であったときは、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならず、そのあと、委員会よりプレー再開の指示が出るまで、プレーを再開してはならない。競技者がすぐにプレーを中断しなかったときは、ゴルフ規則 33-7 に決められているような、罰を免除する正当な事情がなければ、そのプレーヤーは競技失格となる。
(c) プレーの一時中止と再開の合図について
通常のプレー中断 : 競技員の指示に従うこと。
危険を伴う気象状況による即時中断 : 長いサイレンを鳴らして通報する。
プレーの再開 : 長いサイレンを鳴らして通報する。
6. スコアカードの提出(裁定 6-6C/1)
スコアリングエリア方式を採用する。エリアは「かりん」の建物全体とする。
7. 練習
ホールとホールの間での練習禁止(規則7注2)
ホールとホールの間では、プレーヤーは最後にプレーをしたホールのパッティンググリーン上やその近くで練習ストロークをしてはならないし、球を転がすことによって最後にプレーしたホールのパッティンググリーン面をテストしてはならない。
この条件の違反の罰や処置は『付属規則 I (B) 8』を適用する。
8. 移動
委員会が別途認めた場合を除き、プレーヤーは正規のラウンド中、いかなる移動用の機器にも乗ってはならない。
この条件の違反の罰や処置は『付属規則 I (B) 5b』を適用する。
9. 競技の終了時点
競技委員長が成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。
10. 競技の成立
本競技の参加者全員が正規ラウンドを終了できなかった場合、委員会は競技成立について別途定めるものとする。

大会諸注意

〔競技〕

1. 競技の条件やローカルルールに追加、変更のあるときは、スターティングホールのティインググラウンド付近に掲示して告示する。
2. グリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
3. プレー中は、JGA発行のルールブック(2016年度版)・目土袋・スコップ・グリーンフォークは常に携帯すること。(学校名・氏名を明記しておくこと。)
4. 練習は指定練習場にて行い、打放し練習場においては備付けの球を使用し、スタート前の練習は1人1コイン(30球)を限度とする。アプローチ、バンカーの使用を禁止とする。
5. プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当に開けないよう注意のこと。
プレーを不当に遅らせた場合は、ペナルティーを課すことがある。
6. 9ホール終了後、プレーを遅らせなければクラブハウスに立ち入ることができる。
7. スコアカードは大会指定のカードで、スタートの時に競技委員が渡します。
競技委員から指定されたマーカーは、各ホールにカードに記名された競技者のスコアを枠の中に記入し、自己のスコアを同伴競技者全員にわかるようにコールすること。18ホールズ終了後は必要事項を記入し競技者に渡すこと。
競技上、スコア・その他で疑義があると思われたら、競技者本人が直ちに競技委員に報告す
8. 使用ティーマーカーは男子の部 黒色・女子の部 青色とする。
9. 各自が持ち込む電動でない手引きカートについては、使用することができる。

〔服装〕

1. 選手の服装は、各学校指定のユニフォームとする。日本高等学校ゴルフ連盟の服装規定に準ずる。セーター・ベスト・ウィンドブレーカー・レインウエア等着用の際も、その下にユニフォームを着用のこと。(半袖を上にした重ね着は本来の着用の仕方ではない。)
開会式、表彰式は制服を着用する。
2. 参加者は健康管理上及び危険防止の上から、男子・女子とも帽子を着用すること。

〔その他〕

1. ラウンド中は茶店を使用しないこと。
2. 昼食はレストランの指定された場所を利用すること。
3. 髪型はパーマ・染毛・長髪などは厳禁。(出場を許可できない場合がある)
4. ネックレス・ピアス・指輪等の装飾品はしないこと。
5. プレー中はもとより、クラブハウス内においてもマナー・エチケットをよく守り、生徒らしく、特にあいさつや返事はきびきびした態度で行動すること。
6. ロッカーの使用可。貴重品については、各自で管理するかフロントに預けること。また、ロッカーの鍵は必ず大会最終日にゴルフ場に返却すること。
7. 選手も保護者及びギャラリーも服装はゴルフ場への立ち入りに相応しいものとして下さい。
8. 保護者及びギャラリーは競技中コース内に入ることは出来ません。1番・10番ホールのティインググラウンド周辺及び9番・18番ホールのグリーン周辺に限り認めます。
9. 病気または他の事情で参加を取り止める場合は必ず事前に大会事務局へ連絡すること。
10. コース内への携帯電話・距離計測機器(それに準ずる物)の使用を禁止する。

付記

1. 本競技の男子の部3位・女子の部1位までの学校でトータルスコア285以内であれば、平成30年6月14日(木)～16日(土)に三重県CRC白山ヴィレッジゴルフコースにて開催の『平成30年度(第39回)全国高等学校ゴルフ選手権(団体の部)中部地区予選』の出場資格を与える。
2. 開会式は必ず出席すること。正当な理由なく欠席した場合は順位除外とする。
3. 大会期間中に発生した怪我等については、救急車を呼び対応する。